

「指導資料『雪の中での安全』の特徴と活用方法について」

1 目 的

山形県雪対策基本計画（第3次）（平成24年10月改訂）及び山形県雪対策行動計画（平成24年10月策定）に基づき、児童生徒等に対する降積雪期における安全教育のための指導資料を作成しました。

2 指導資料の特徴（作成のポイント）

- ① 雪の中の生活で注意するポイントをまとめました。
＜雪道を安全に歩くポイント＞では、主に道路を歩く時の注意点を、
＜こんなところに近づかないようにしよう＞では、雪の中での生活で、データの多いのちに関わる事故について載せました。
- ② ＜みんなで話し合ってみよう！＞では、上記の注意するポイントを受けて、地域の実情に合わせて降積雪時において自分の身の回りの危険を予測させ、適切に行動できるよう一人ひとりに考えさせるため、一人ひとりが記入できるようにしました。
- ③ ＜山形県の大雪・地吹雪＞についての読み物資料です。
- ④ 一人ひとりが、雪の中での生活の注意点について＜標語を考えよう！＞を設け、より考えを深められるようにしました。
- ⑤ ＜雪の安全マップを作ってみよう！＞では、身の回りから地域へと雪の中の安全について考えを広げるものです。

3 指導資料の活用方法について

- ・ 県ホームページ（下記アドレス参照）に掲載し、使用する場合にはダウンロードし、必要枚数を印刷して活用してください。
- ・ パソコンやプロジェクター、電子黒板等、ICT機器をご活用ください。
- ・ 学校、地域において降積雪期の実情に合わせて活用くださるようお願いいたします。

<参考>

○資料のホームページアドレス

【降積雪期における安全教育のための指導資料「雪の中での安全」】
教育庁スポーツ保健課

(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700021/yukinoanzen.html>)